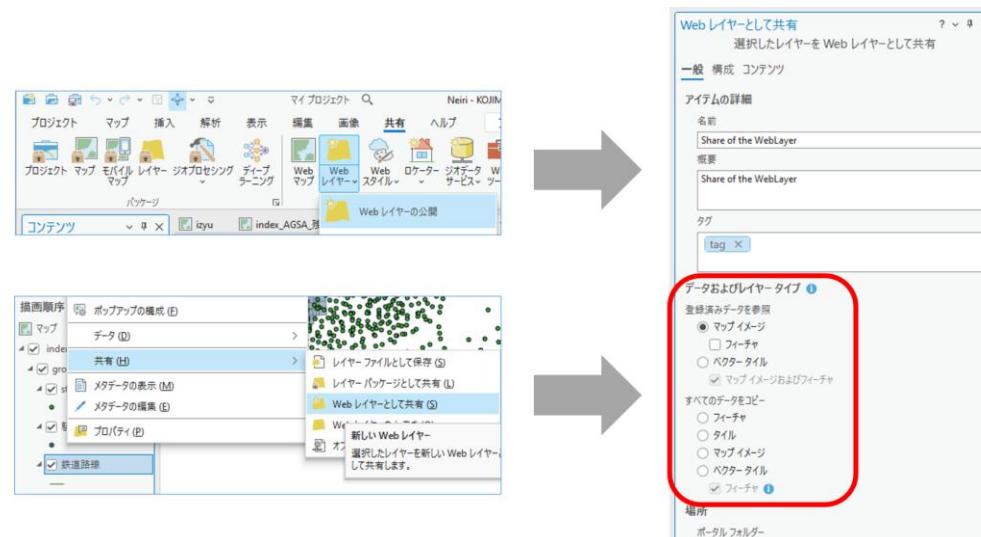


ArcGIS Pro から Portal ポータルサイトに公開できるレイヤー タイプとその格納先

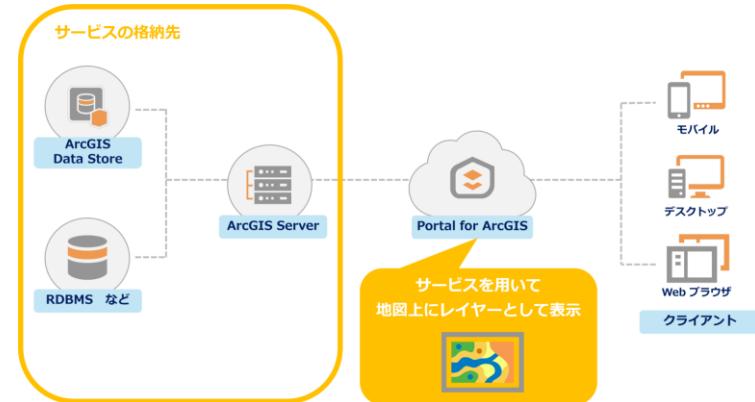
データおよびレイヤータイプ (ツールの選択項目) (※1)	レイヤー (※2) タイプ (ツールの選択項目)	種類/名称	レイヤータイプ (※4) (ポータルサイト上の表記)	レイヤーのアイテムの格納先	サービス (※3) の格納先	サービスのデータ格納先 (ArcGIS Server が参照している場所)
登録済データを参照 (※6)	マップイメージ + フィーチャ (選択任意)	マップ イメージ レイヤー	Map Image Layer	ポータル サイトのコンテンツ C:\arcgisportal\content\items C:\arcgisserver\directories\arcgisystem\arcgisinput	レイヤーの実態はサービス。 そのサービスを管理しているのは ArcGIS Server	データストア (RDBMS 等) (※9)
	ベクタータイル + マップイメージおよびフィーチャ (選択必須、3点あわせて公開)	フィーチャ レイヤー	Feature layer			ArcGIS Data Store (※8)
	ベクタータイル	ベクタータイル レイヤー	Tile layer (ホスト) (※5)			データストア (RDBMS 等) (※9)
	マップイメージ	マップ イメージ レイヤー	Map Image Layer			ArcGIS Data Store
	フィーチャ	フィーチャ レイヤー	Feature layer			C:\arcgisserver\directories\arcgisystem\arcgisinput (※10)
	タイル	ホスト タイル レイヤー	Tile layer (ホスト) (※5)			ArcGIS Data Store
すべてのデータをコピー (※7)	マップイメージ	マップ イメージ レイヤー	Map Image Layer		C:\arcgisserver\directories\arcgisystem\arcgisinput	
	ベクタータイル + フィーチャ (選択任意)	ベクタータイル レイヤー	Tile layer (ホスト) (※5)			
	フィーチャ	ホスト フィーチャ レイヤー	Feature layer (ホスト)			
	タイル	ホスト タイル レイヤー	Tile layer (ホスト) (※5)			
	マップイメージ	マップ イメージ レイヤー	Map Image Layer			

※1 データおよびレイヤータイプ



※2 レイヤー

- サービス（マップサービスやフィーチャサービスなど）を、ポータルサイト上のマップやアプリで使用するために、マップやアプリに追加したもの。
 - ArcGIS Server と Portal for ArcGIS の連携（フェデレート・ホスティングサーバーの登録）した、Portal for ArcGIS ポータルサイト上のマップやアプリ上で表示される「レイヤー」は、ArcGIS Server や ArcGIS Data Store、データベース（RDBMS・FGDB など）に格納されている、「サービス（レイヤーの実態）」を用いて、地図上に表示されたもの。
- フェデレート サーバーの構成—Portal for ArcGIS | ArcGIS Enterprise のドキュメント
ホスティングサーバーの登録 ホスティング サーバーの構成—Portal for ArcGIS | ArcGIS Enterprise のドキュメント
RDBMS エンタープライズ ジオデータベースと ArcGIS Enterprise—ArcGIS Server | ArcGIS Enterprise のドキュメント
FGDB ファイル ジオデータベース—ArcGIS Pro | ドキュメント



※3 サービス

- ArcGIS Server のサービス。マップサービス（地図を配信する機能）やフィーチャサービス（地図を配信する機能+編集機能）など配信する機能。

※4 レイヤー タイプ



※5

- ポータルサイト上での、ベクター タイル レイヤーとホスト タイル レイヤーにおけるレイヤー タイプの表記は、両方「Tile layer (ホスト)」となるが、アイコンが異なる。

ホスト タイル レイヤー



ベクター タイル レイヤー



※6 [登録済データを参照] で公開した場合

- ポータルサイトへの公開後に、ArcGIS Pro 上で行ったリソースの改変が、公開したレイヤーやサービスに即座に反映される。

※7 [すべてのデータをコピー] で公開した場合

- ポータルサイトへの公開後に、ArcGIS Pro 上で行ったリソースの改変が、公開したレイヤーやサービスに反映されることが基本的に起きない。

※8

- 通常、[登録済データを参照] を選択して公開した場合の「サービスのデータ格納先」は、データストア（RDBMS 等）。
- [登録済データを参照] と [すべてのデータをコピー] のどちらを選択しても、「サービスのデータ格納先」は、ArcGIS Data Store になる仕様。
 - ベクタータイル レイヤーは、ArcGIS Server と Portal for ArcGIS の連携（フェデレーション・ホスティング）を行った、ポータルサイト上ではじめて、利用することができるレイヤー。
 - ベクタータイル レイヤーは、レイヤーの中でも比較的最近登場したレイヤーであるため、他のレイヤーと仕様が異なる。
- RDBMS に格納していたレイヤーを、ベクタータイル レイヤーとして、公開（登録済データを参照）しても、ArcGIS Pro 上で行ったリソースの改変が、公開したレイヤーやサービスに反映されない仕様。

※9 RDBMS

格納先の選定

- エンタープライズ ジオデータベース
- マップ イメージ レイヤーのみ参照して公開したい場合、リソースのデータが、RDBMS 以外のファイル ジオデータベースやローカルフォルダに格納されている状態でも、ポータルサイトへ公開できる。

※10

- 「ホスト」がつかない「マップ イメージ レイヤー」として公開されるので、「サービスのデータ格納先」は、ArcGIS Data Store ではない。

・「ホスト レイヤー」に属している「ホスト マップ イメージ レイヤー」を公開したい場合は、下記リンク先の手順を実施。

ホスト Web レイヤーの Web フィーチャ レイヤーからの公開—ArcGIS Pro | ドキュメント